

平成 21 年度 事業 計画

(自平成21年 3 月 1 日 至平成22年 2 月28日)

社団法人 溶 接 学 会

平成 21 年度において、本会は溶接研究の拡充振興及び溶接教育の推進強化を目標として下記の事業を行う。

1. 全国大会 (定款 3 条 1 項)

1.1 春季全国大会

平成 21 年 4 月 22 日～24 日 アルカディア市ヶ谷 (私学会館) (東京)

研究発表講演 (102 件)、特別講演「経営はひとつづくり」、シンポジウム「溶接技術イノベーションへのシナリオ、-NEDO『鉄鋼材料の革新的高強度・高機能化基盤研究開発』プロジェクトから-」(講演 6 件)、フォーラム「科学に基づく溶接・接合技術のイメージング溶接アーク物理の追究-」(講演 7 件)、若手フォーラム「溶接現場における溶接技術の各種事例」

1.2 秋季全国大会

平成 21 年 9 月 9 日 (水)～11 日 (金) (徳島)

研究発表講演、特別講演、溶接学会論文賞受賞講演 (1 件)

フォーラム「溶接・材料革新技術の新構造設計への展開」、若手会員のためのフォーラム、技術セッション「溶接技術の基礎と現状」

2. 講習会 (定款第 3 条 1 項)

2.1 平成 21 年度溶接入門講座 (第 37 回)

会 期 平成 21 年 6 月 3 日～4 日

会 場 科学技術館 (東京)

2.2 平成 21 年度溶接工学夏季大学 (第 58 回)「溶接中堅技術者講座」

会 期 平成 21 年 8 月 31 日～9 月 2 日 (3 日間)

会 場 大阪大学工学研究科岡田メモリアルホール (大阪)

3. 刊 行 (定款第 3 条 3 項)

3.1 溶接学会誌 自 78 巻 2 号 (平成 21 年 3 月号) 至 79 巻 1 号 (平成 22 年 1 月号) 8 冊

3.2 溶接学会論文集 (WEB 出版) 第 27 巻 2 号 (平成 21 年 5 月)～第 28 巻 1 号 (平成 21 年 12 月) 4 冊

3.3 全国大会講演概要集 (第 84 集及び第 85 集) 2 冊

3.4 溶接学会技術資料を随時刊行する。

3.5 平成 21 年度溶接工学夏季大学教材「溶接中堅技術者講座」

3.6 Mate2010 16th Symposium on "Microjoining and Assembly Technology in Electronics" 論文集

4. 第 77 回通常総会

開催期日 平成 21 年 4 月 23 日

開催場所 アルカディア市ヶ谷 (私学会館) (東京)

- 議 題
- 1) 平成 20 年度事業報告承認の件
 - 2) 平成 20 年度収支決算報告承認の件
 - 3) 監査報告
 - 4) 平成 21 年度事業計画承認の件
 - 5) 平成 21 年度収支予算承認の件
 - 6) 名誉員推薦
 - 7) 特別員推薦
 - 8) 表彰の件

9) 溶接学会フェロー認定

5. 役員会

5.1 理事会

定例理事会を 8 回 (3, 4, 6, 9, 12, 1, 2, 3 各月) 開催 (5, 7, 8, 10, 11 各月は休会) 及び必要あるとき開催

5.2 各業務担当理事会

必要あるとき随時開催

5.3 支部長会議及び支部幹事会

必要あるとき随時開催

6. 業務活動

6.1 企画委員会

平成 20・21 年度活動目標「学会メリットの見える化・魅せる化の推進を通しての学会活性化と会勢拡大」に向けて、学会誌やインターネットによる当該分野の国内外の情勢・学術情報の発信に努めるとともに、知的好奇心を刺激し、仲間意識が持てるような研究者・技術者個人が自らの意思で集いたいと思えるソサエティとなるよう、学会全国大会や学会支部活動、研究委員会などのありかたを検討する。溶接接合技術の将来ビジョン策定に関連し、各研究委員会のロードマップを学会誌で公開するとともに、日本学術会議や材料連合協議会などにおいて、次世代溶接工学の必要性をアピールすることで、溶接学会のプレゼンスを示し、社会における認知度と学会ブランドを高める。また、日本溶接協会との連携をさらに進めることで、業界・社会のニーズを踏まえながら、我が国のものづくりにとって有益な学術発展につながる活動を行う。また、公益法人化への移行に向けて、学会業務委員会・事務局の体制の議論を始める。

6.2 溶接情報化委員会

年度内 4 回の定例委員会を開催し、本会の学術情報公開の基本方針に従い、本会の出版物、研究委員会資料等の情報発信形態等を検討すると同時に、本会 HP のメンテナンスを行う。また、JST, Nii ELS を通した電子情報化を H20 年度合意に基づいて進めると共に、JWES 溶接情報センターを通した日本溶接協会との情報化推進ワークを継続して行っていく。

6.3 編集委員会

溶接学会誌及び溶接学会論文集の編集及び刊行を行う。論文集は WEB 論文集として引き続き 発行する。溶接学会誌の内容について学会員モニターによるアンケート調査を実施し、学会 誌の内容充実努める。ベストオーサー賞候補者を選考する。

国立情報学研究所 (NII) の電子図書館サービス (NACSIS-ELS) 事業に引き続き参加し、溶接学会誌は創刊号からを対象として発行日から 3 年経過後に同サービスにて公開する。また溶 接学会論文集は創刊号からを対象として発行直後から同サービスにて公開する。

科学技術情報発信・流通総合システム (J-Stage) に引き続き参加して、溶接学会論文集を発行直後から同サービスにて公開する。

英文誌 STWJ (Science and Technology of Welding and Joining) の共同編集に引き続き参加する。

6.4 論文査読・審査委員会

昨年度に引き続き、インターネット利用による電子委員会をさらに推進し、査読期間の短縮を促進するとともに、投稿者と査読者がともに便利で使いやすい電子委員会システムへの改善に努める。原則年度内1回の全委員が集まる定例委員会を開催し、電子委員会システム遂行上の課題の確認と改善のための検討、およびインターネットのみでは伝わりにくい種々の意見交換および議論にあてる。なお、昨年11月開催の8WS発表論文の内、論文集への掲載希望論文(56件)を8WS実行委員会・論文委員会と協力して査読審査し、8WS特集を通常論文集の中に入れて刊行する。

STWJへの推薦論文を選考し、同誌への投稿を推進することで海外への本学会研究活動の情報発信を引き続き進める。しかし、STWJ日本査読委員の負担が大きいため、STWJへの推薦システムの改善策を引き続き検討する。

6.5 全国大会運営委員会

- (1) 全国大会の企画・運営について審議決定及び実施する。
- (2) 講演概要集第84集及び第85集を発行する。
- (3) 平成21年度秋季および平成22年度春季全国大会プログラムを編成する。
- (4) 全国大会における35歳以下の研究者による研究発表に対し、溶接学会研究発表賞の審査・推薦を行う。
- (5) 科学技術情報発信・流通総合システム(J-Stage)を利用した発表及び投稿申込を実施する。
- (6) 全国大会をウエルディングショーと連携開催することについて引き続き協議する。
- (7) 概要集のCD-ROM化について引き続き協議する。

6.6 溶接教育委員会

- (1) 必要に応じて委員会を開催し、本会の普及・教育活動に関する課題について検討する。
- (2) 21年度IIW国際溶接技術者特認コースの試験実施に向けて、J-ANB・日本溶接協会と連携し、プロフェッショナル・インタビュー、プロジェクトワーク、最終筆記試験などの実施要領を検討する。
- (3) IIW特認コースの受験者のために、本部・支部主催の講座・講習会をモジュール毎に整理するとともに、受講者のニーズをヒアリングしながら、内容を企画立案し実施する。
 - 1) 平成21年度溶接工学夏季大学(前掲)
 - 2) 平成21年度溶接入門講座(前掲)
 - 3) 溶接・接合技術セミナー
 - 4) 溶接技術実用講座(支部と共催)
 - 5) 新規企画講習会、セミナーなど
- (4) IIW第XIV委員会等と連絡し、各国と溶接教育について情報を交換する。
- (5) 溶接技術者・溶接技能者の育成のための学協会と教育機関(大学・高専・工業高校)の連携について検討する。
- (6) 日本溶接協会教育委員会と連携し、IIWスキームに準拠した溶接技術者教育用テキストの作成に向けた検討を行う。

6.7 国際交流委員会

必要ある時随時開催し、国際交流事業の企画立案及び実行態勢の整備を行う。

国際溶接学会(IIW)に参加する。日米協定、日韓協定及び日越協定に基づく活動(合同シンポジウム等を含む)を推進する。

アジア溶接連盟(AWF)の活動及びシンポジウムに引き続き参加する。

6.8 溶接用語委員会

- (1) JIW第6委員会と合同で適宜、委員会を開催し、IIW第VI委員会の活動を支援する。
- (2) 溶接・接合辞典の刊行を検討する。
- (3) JIS溶接用語改訂に関し、日本溶接協会規格委員会に協力する。

7. 若手会員の会

1. 若手会員の会運営委員会

若手会員間のネットワーク強化・国際化を促進するとともに、地方支部での若手会員の活動を積極的に支援する。また、若手会員・学生員の学会活動に対する積極的な参加を促すことを目的に、若手会員・学生員に対して魅力ある各種イベント・事業を企画・実施する。さらに、学会員以外の方々にも参加していただき、学会員の増強・学会の広報の一助となるような行事を企画し、より幅広く活動を展開する。

2. イベント

- (1) 春季全国大会フォーラム(共催:(財)溶接接合工学振興会)
主題: 製造現場における溶接技術の各種事例
日時: 平成21年4月23日(木)17:00~18:30
場所: アルカディア市ヶ谷(春季全国大会開催会場)
講演者: 造船, 建築, 製鋼等の分野でご活躍中の技術者
- (2) 秋季全国大会フォーラム
主題: 若手の研究ポスターセッションと交流会
日時: 平成21年9月10日(木)17:00~18:30(予定)
場所: 徳島大学工学部(秋季全国大会開催会場)
発表者: 若手会員および学生員: 40名程度
- (3) The 5th JWS-KWJS Young Researchers Symposium
日時: 平成21年11月26日(木)~27日(金)(予定)
場所: 韓国済州島(KWJS秋季大会開催会場)(予定)
- (4) 基礎セミナー(東海支部との共催)
日時・場所: 平成21年11月, 愛知県名古屋市
- (5) 見学会
日時・場所: 平成21年4月頃・羽田空港, 6月頃・Spring8
- (6) 若手会員および地方支部を支援するためのセミナー, 勉強会, 見学会等を開催する。
- (7) 若手会員間の交流活性化, 若手会員活動の活性化, 若手会員の増強などに資する提言を行う。

3. 情報交換および広報

- (1) 溶接学会誌「若手会員の会自由編集のページ」に連載記事, 活動報告等を掲載する。
- (2) 溶接学会誌に「スポットライト—若手の特集記事—」を掲載する。
- (3) ホームページに, 活動報告, 研究室・研究所紹介等の情報を掲載する。
- (4) メーリングリスト(E-mail)による情報交換を促進する。

8. 研究活動

8.1 研究推進部会

- (1) 随時開催し, 各研究委員会の活動状況の把握及び調整並びに特別研究会, アドホック研究会及びミニ研究会等の

設置についての起案・規模策定及び理事会への答申等を行う。学会活動の情報化に伴う研究委員会 HP の拡充、研究委員会設置形態の見直し、国際対応、ナショプロ化対応等について検討する。

- (2) 春季全国大会においてフォーラム（アーク物理研究委員会）を開催する。（前掲）
- (3) 秋季全国大会においてフォーラムゆ溶接構造研究委員会）を開催する。（前掲）
- (4) 特別研究会「建築鉄骨における溶融亜鉛メッキ割れに関する研究」（中込忠男主査）
- (5) 特別研究会「溶接・接合プロセスのビジュアル化最前線」（田中学主査）

委員より ご提供いただいた 98 件の動画の編集作業および提供委員との修正に関する検討を継続し、H21 年 7 月をめどに編集作業を修正させる。H21 年 10 月頃に「溶接・接合プロセスのビジュアル化最前線」セミナーの開催を予定し、完成させた DVD をデジタル化ビジュアル教材として使用する。

- (7) アドホック研究会「FSW の品質保証に関する研究会」（安井利明主査）

次回および次回開催の研究会において研究課題の実施内容と分担などを具体的に決定する予定である。本年度も 2 ヶ月に 1 度の予定で研究会を開催する予定である。

- (8) 溶接学会記念基金助成活動
「若手溶接技術者・研究者のグローバルネットワークの形成」委員会（川上博士主査）

平成 21 年度は、7 月にシンガポールにて開催の AWF シンポジウムに発表者派遣を含む活動を行う予定である。

8.2 溶接構造研究委員会

- (1) 開催回 年 4 回数
- (2) 会 期 1 回の会期は原則として 1 日または 2 日とする。
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内容
182 回	3 月	東京	研究報告 5 件（日本造船学会材料・溶接部会との合同委員会）
183 回	5 月	未定	
184 回	11 月	未定	溶接構造シンポジウム 2009・創設 50 周年記念大会
185 回	1 月	東京	

溶接構造シンポジウム 2009・溶接構造研究委員会創設 50 周年記念大会を開催する

8.3 溶接法研究委員会

- (1) 開催回 年 4 回数
- (2) 見学会 地方開催時および随時
- (3) 会 期 1 回の会期は原則として 1 日とする。
- (4) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内容
206 回	5 月	東京	基調講演、研究報告 5～6 件
207 回	8 月	大阪	基調講演、研究報告 10～12 件（溶接アーク物理研究分科会）
208 回	未定	未定	基調講演、研究報告 5～6 件
209 回	2 月	東京	基調講演、研究報告 10～12 件（溶接冶金研究委員会と合同）

JIW 第 12 委員会と協力して国際研究活動を行う

8.4 溶接冶金研究委員会

- (1) 開催回 年 4 回数
- (2) 見学会 地方開催時および随時
- (3) 会 期 1 回の会期は原則として 1 日または 2 日とする
- (4) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内容
196 回	5 月	東京	研究報告 5～6 件
197 回	9 月	大阪	研究報告 5～6 件
198 回	11 月	韓国	日韓合同セミナー
199 回	2 月	東京	研究報告 10～12 件（溶接法研究委員会と合同）

8.5 溶接疲労強度研究委員会

- (1) 開催回 年 4 回数
- (2) 会 期 1 回の会期は原則として 1 日とする。
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内容
221 回	4 月	東京	研究発表 4～6 件
222 回	7 月	東京	研究発表 4～6 件
223 回	11 月	未定	研究発表 4～6 件 見学会
224 回	1 月	東京	研究発表 4～6 件

8.6 高エネルギービーム加工研究委員会

- (1) 開催回 年 3 回数
- (2) 会 期 1 回の会期は、原則として 1 日とする。
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内容
61 回	5 月	東京	研究発表 5～6 件、文献紹介、その他
62 回	10 月	大阪	研究発表 5～6 件、文献紹介、その他
63 回	2 月	東京	研究発表 5～6 件、文献紹介、その他

JIW 第 4 委員会と協力して国際研究活動を行う。

8.7 軽構造接合加工研究委員会

- (1) 開催回 年 4 回数
- (2) 会 期 1 回の会期は原則として 1 日とする。
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内容
85 回	6 月	東京	講演・研究報告 4～5 件
86 回	9 月	大阪	講演・研究報告 4～5 件
87 回	11 月	未定	講演・研究報告 4～5 件 見学会
88 回	1 月	東京	講演・研究報告 4～5 件

他の研究委員会、他学協会と協力して活動する。
WG 活動を行う。

8.8 マイクロ接合研究委員会

- (1) 開催回 年 3 回数
- (2) 会 期 1 回の会期は原則として 1 日とする。
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内容
90 回	6 月	東京	講演、研究発表 4～7 件
91 回	9 月	東京	講演、研究発表 4～7 件
92 回	12 月	東京	講演、研究発表 4～7 件

- (4) ソルダリング分科会を開催する。

会合名	開催日	開催地	内容
47 回	7 月	東京	単独開催、テーマ設定方式
48 回	10 月	東京	単独開催、テーマ設定方式

- (5) Mate 2010 シンポジウムを開催する。

8.9 界面接合研究委員会

- (1) 開催回 年 3 回数
- (2) 会 期 会期は原則として 1 日とする。
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内容
81 回	5 月	東京	特別講演 1 件・研究発表 4～5 件
82 回	9 月	東京	特別講演 1 件・研究発表 4～5 件
83 回	1 月	東京	特別講演 1 件・研究発表 4～5 件

JIW 第 1 委員会などと協力して国際研究活動を行う

9. 溶接学会記念基金助成活動

第 12 回 AWF シンポジウム（7 月シンガポール、IIW 開催時）にて開催予定の AWF（アジア溶接連盟）シンポジウム開催を支援する。

10. 国内活動

10.1 日本学術会議材料工学研究連絡委員会、同土木工学・建築学委員会、同機械工学委員会、材料戦略委員会、金属連合協議会、生産学術連合会、電子情報技術産業協会、日本技術者教育認定機構、日本工学会、日本溶接協会、日本非破壊検査協会、その他、溶接学術連合講演会など関係学協会

- との協力態勢を積極的に樹立し本会の目的達成を図る。
- 10.2 各政府機関に対して行政協力を積極的に行う。
- 10.3 支部活動を活発に行う。
- 11. 国際活動**
- 11.1 JIW の活動を支援し、IIW の活動を通じて溶接に関する国際活動を行う。
- 11.2 各国学協会と各種情報、機関誌等を交換して積極的に交流を図る。

- 11.3 会員による海外視察の立案、国外からの来訪者による特別講演の実施、訪日外国人の国内視察斡旋などにより研究及び経験の交流を図る。
- 11.5 米国溶接協会（AWS）、大韓熔接学会（KWS）、及びヴェトナム溶接学会（VWS）の各協力協定に基づき交流活動を推進する。
- アジア溶接連盟（AWF）の活動を推進する。

平成 21 年度 支部 事業 計画

1. 北海道支部

1. 事業
- 1.1 見学会 未定
- 1.2 講習会 未定
2. 会務
- 2.1 平成 21 年度支部商議員会並びに支部総会
日時：平成 21 年 3 月 6 日（金）16:00～17:00
場所：北海道大学工学部本館 社会工学系会議室 A1-01 室
- 2.2 各賞授賞者審査委員会及び選考委員会
- (1) 溶接学会溶接技術普及賞審査委員会
- (2) 溶接学会溶接技術奨励賞審査委員会
- (3) 溶接学会奨学賞・溶接学会北海道支部学生奨学賞選考委員会
- (4) 溶接学会溶接学術振興賞
- 2.3 幹事会
2 回開催予定

2. 東北支部

1. 事業
- 1.1 講習会・セミナーなど
第 21 回溶接・接合研究会
日 時：平成 21 年 7 月 17 日（金）13:00-17:00（予定）
場 所：秋田市内（予定）
研究発表 5～10 件
参加者：40～50 名
- 1.2 刊行：なし
2. 会務
- 2.1 第 46 回商議員会
日 時：平成 21 年 5 月 9 日（土）11:00～12:00
場 所：東北地区溶接技術検定委員会会議室（仙台市泉区）
- 2.2 表彰
日 時：平成 21 年 5 月 9 日（土）12:00～12:30
場 所：東北地区溶接技術検定委員会会議室（仙台市泉区）
平成 20 年度溶接技術奨励賞：2 名
平成 20 年度溶接技術普及賞：2 名
平成 20 年度本部奨学賞（報告）：1 名
平成 20 年度東北支部奨学賞（報告）：4 名
- 2.3 総会：商議員会議事録抜粋を支部会員に郵送（平成 21 年 6 月中旬）

3. 東部支部

1. 第 37 回 実用溶接講座（見学会&講習会）

平成 21 年秋に実施予定

主 題：詳細検討中

2. 地区講演会・講習会

- (1) 東京地区（地区委員長：村田義明（日鐵住金溶接工業）：溶接技術講習会実施予定（（社）日本溶接協会と共催）講演題目等は現在調整中
- (2) 神奈川地区（地区委員長：飯島 亨（IHI）：溶接技術講習会実施予定（詳細未定）
- (3) 千葉地区（地区委員長：森本 裕（新日鐵）：溶接技術講習会
主 題：「ステンレス鋼およびチタンの溶接方法について」
主 催：（社）千葉県溶接協会
共 催：（社）溶接学会 東部支部 千葉地区委員会
開催日：平成 21 年 3 月 18 日（水）9:30～15:30
開催場所：千葉県産業支援技術研究所
1. ステンレス鋼の溶接について（日本ウェルディングロッド、斉藤貞一）
2. ステンレス鋼の溶接トラブルと対策について（日本ウェルディングロッド、斉藤貞一）
3. チタンの溶接について（クロセ、葛西省五）
4. ステンレス鋼およびチタンの JIS 検定について（クロセ、葛西省五）
- (4) 茨城地区（地区委員長：平野 聡（日立製作所）：
- (5) 埼玉地区（地区委員長：山根 敏（埼玉大学）：溶接技術講習会開催予定（テーマ「アーク溶接の世界」、詳細は未定）
- (6) 栃木地区（地区委員長：中島章典（宇都宮大学）：溶接技術講習会 (1)
主催：（社）溶接学会 東部支部 栃木地区委員会
共催：（社）栃木県溶接協会
開催日：平成 21 年 3 月 4 日（水）
開催場所：栃木県産業技術センター
参加者：35 名
講演題目（講師）：
1. 鉄骨建築における品質管理について（大和ハウス、柴原 栄）
2. イノベーションで勝ち抜く中小企業を目指して（センター、森 和男）
溶接技術講習会 (2)
平成 22 年 2 月開催予定（詳細未定）

視察研修等

日 時：平成 21 年 3 月 19 日～22 日

内 容：ベトナムにおける溶接産業について（学校、企業等視察）

参加者：11 名

その他

通常総会（1 回）、幹事会（2 回）、情報交換会（1 回）、実施予定

親睦事業（平成 21 年 10 月）実施予定

- (7) 群馬地区（地区委員長：楠元一臣（群馬大学））：溶接技術講習会

主催：群馬地区技術交流研究会加工技術分科会

共催：(社) 溶接学会 東部支部 群馬地区委員会

開催日時：平成 21 年 3 月 4 日（水）14 時～

開催場所：群馬大学工学部

講演題目：「レーザー溶接の基礎と応用」（大阪大学接合科学研究所，片山聖二）

- (8) 新潟地区 地区委員長：宮下幸雄（長岡技術科学大学）：溶接技術講習会

主 題：ステンレス鋼の溶接施工技術

主 催：(財)新潟県県央地域地場産業振興センター，溶接学会東部支部

開催日時：平成 21 年 3 月 11 日（水）13:30～17:30

開催場所：(財)新潟県県央地域地場産業振興センター 三条・燕地域リサーチコア

講演題目（講師）

1. ステンレス鋼における溶接変形と対策（川崎重工業株式会社，古賀信次）
2. 最近のステンレス鋼の溶接（新日本製鐵株式会社，井上裕滋）
3. ステンレス鋼の溶接後の表面仕上げ（株式会社ケミカル山本，掛川比呂志）

- (9) 山梨地区（地区委員長：宮川和幸（山梨県工業技術センター））：実施予定なし

- (10) 長野地区（地区委員長：中込忠男（信州大学））：溶接技術講習会開催予定（「建築・鉄骨の溶接」を主題に計画・調整中，詳細未定）

3. 平成 21 年度，通常総会

通常総会は隔年開催のため，平成 21 年度は開催せず，平成 21 年 6 月 12 日（金）

開催予定の常任幹事&地区委員長会議にて書類審査予定。

開催場所：(社) 溶接学会、会議室

議 題：

1. 平成 20 年度事業報告，会務報告および収支決算報告承認の件
2. 平成 21 年度事業計画案および収支予算案承認の件
3. 溶接技術奨励賞および溶接技術普及賞の受賞式

4. 表彰

- 1) 平成 20 年度 溶接技術奨励賞，溶接技術普及賞の表彰
平成 21 年 6 月 12 日（金），(社) 溶接学会，会議室
常任幹事&地区委員長会議終了後，受賞式を行い表彰する。
受賞祝賀会：受賞式終了後，秋葉原周辺にて実施予定。
- 2) 平成 20 年度 溶接学会奨学賞の表彰

平成 21 年 3 月

楯を推薦者に送付し、推薦者から受賞者に楯を授与して表彰する。

5. 常任幹事会・地区委員長会議

年 4 回，適宜開催する。

4. 東海支部

1. 事業

- 1.1 溶接研究会、講習会など

(1) 溶接研究会

第 69 回 平成 21 年 7 月 名古屋市工業研究所

第 70 回 平成 21 年 10 月 名古屋市工業研究所

第 71 回 平成 22 年 2 月 名古屋市工業研究所

(2) 講習会（若手技術者向け）

第 16 回溶接技術講習会 平成 21 年 11 月

2. 会務

- 2.1 平成 21 年度支部総会及び特別講演

日 時：平成 21 年 5 月 15 日 14：30～17：00

場 所：名古屋市工業研究所

議 事：

- 1) 平成 20 度事業報告及び決算報告
- 2) 平成 21 度事業計画案及び予算案の審議
- 3) 東海支部規約改訂案の審議
- 4) 支部三賞授賞式
- 5) フェロー授与者のご紹介

特別講演 1 件

アドホック研究会の紹介他

- 2.2 支部商議員会

第 1 回商議員会 平成 21 年 5 月 名古屋市工業研究所

第 2 回商議員会 平成 21 年 10 月 名古屋市工業研究所

第 3 回商議員会 平成 22 年 2 月 名古屋市工業研究所

5. 北陸支部

1. 事業

- 1.1 特別講演会

第 1 回 開催日：平成 21 年 7 月予定 場所：富山県工業技術センター

第 2 回 開催日：平成 21 年 11 月予定 場所：未定

- 1.2 工場見学 開催日：平成 21 年 9 月予定 場所：未定

- 1.3 研究発表会 開催日：平成 21 年 11 月予定 場所：未定（＊特別講演会と同日開催予定）

2. 会務

- 2.1 平成 21 年度支部総会

開催日：平成 21 年 7 月予定

場 所：富山県工業技術センター

- 2.2 支部商議員会及び役員会

第 1 回 開催日：平成 21 年 7 月予定 場所：富山県工業技術センター

第 2 回 開催日：平成 21 年 11 月予定 場所：未定

6. 関西支部

1. 事業

- (1) 平成 21 年度講演・工場見学会

①平成 20 年度行事のずれ込みとして

三菱重工業(株) 高砂製作所にて講演会と工場見学会を開催する。

②平成 21 年度行事として

関西地区の工場見学および研究発表を計画（平成 21 年秋頃、場所・テーマ未定）

(2) 上記研究発表テキストを刊行予定

2. 会務

(1) 支部総会

平成 21 年度支部総会を、平成 21 年 3 月 17 日に開催予定。

場所：三菱重工業(株) 高砂クラブ

議題：支部規約の一部改定について

(2) 役員会

平成 21 年度役員会を平成 21 年 6 月頃に開催予定（場所未定）

7. 中国支部

1. 事業

1.1 研究会・見学会

日程、場所：未定

参加者数：50 名程度（過去実績）

1.2 溶接技術講習会

題目、日時、会場：未定

参加者数：40 名程度（昨年度実績）

1.3 第 6 回 溶接・接合工学学修会

日程、場所：未定

趣旨：溶接学会員の増員、中国支部の若手技術者の基礎力養成、

中国支部ネットワーク作り

内容：中国支部・若手会委員の会から 5 名程度の講師による講義、WES2 級テキスト使用

若手会員の会との共催（予定）

参加者数：50 名程度（過去実績）

2. 会務

2.1 第 1 回 幹事会

日程：平成 21 年 5 月（予定）

議題：研究会・見学会、溶接・接合工学学修会、講習会等打合せ

2.2 第 2 回 幹事会・受賞審査委員会

日程：平成 21 年 12 月（予定）

議題：21 年度事業・会務報告、22 年度事業・会務計画立案、各種表彰推薦者の審査

2.3 第 3 回 幹事会・商議員会合同会議

日程：平成 22 年 3 月

議題：21 年度事業・会務報告、22 年度事業・会務計画説明、奨学賞受賞報告

2.4 総会・特別講演会

日程：平成 21 年 3 月

議題：21 年度事業・会務報告、22 年度事業・会務計画説明、表彰式

受賞記念講演会：2 名程度

8. 四国支部

1. 事業

1.1 講習会、セミナー

1 特別講演「溶接機器の最近の動向－アーク溶接を中心に－」

会期：平成 20 年 7 月 25 日

場所：徳島県立工業技術センター

参加者：14 名

2 特別講演「増淵興一名誉教授：米国での溶接に関する研究及び教育生活から」

会期：平成 20 年 10 月 21 日

場所：香川県産業技術研究センター

参加者：35 名

3 第 14 回材料関連学協会支部・研究会連合講演会

日時：平成 20 年 3 月 6 日（金）

場所：高知県工業技術センター

参加者：38 名

1.2 刊行 なし

2. 会務

2.1 平成 20 年度通常総会

日時：平成 20 年 7 月 25 日

場所：徳島県立工業技術センター

参加者：16 名

2.2 常任幹事、地区委員長会議

2.2.1 平成 20 年度第 1 回幹事会

平成 20 年 10 月 21 日

香川県産業技術研究センター

2.2.2 平成 20 年度第 2 回幹事会

平成 21 年 3 月 6 日

高知県工業技術センター

9. 九州支部

1. 事業

1.1 溶接技術者育成教育

会期：平成 21 年 10 月 24 日（土）、25 日（日）（予定）

9:00～16:30

会場：戸畑生涯教育センター（予定）

1.2 平成 21 年度溶接学会九州支部研究発表会

日時：平成 21 年 7 月 24 日（金） 9:00～17:00（予定）

会場：九州大学箱崎キャンパス

研究発表 5～10 件

参加者：30～40 名

1.3 第 2 回 若手グループ研究会・見学会

日時、会場 調整中

1.4 刊行

出版物名：溶接学会九州支部講演論文集、第 6 号

2. 会務

2.1 平成 21 年度商議員会

日時：平成 21 年 7 月 24 日（金） 12:00～13:00（予定）

会場：九州大学箱崎キャンパス

2.2 表彰

日時：平成 21 年 7 月 24 日（金） 13:00～13:10（予定）

会場：九州大学箱崎キャンパス

平成 20 年度溶接技術奨励賞：1 名

平成 20 年度溶接技術普及賞：1 名

平成 20 年度本部奨学賞（報告）：2 名

平成 20 年度九州支部奨学賞（報告）：2 名

2.3 平成 21 年度通常総会

日時：平成 21 年 7 月 24 日（金） 13:100～13:30（予定）

会場：九州大学箱崎キャンパス